

令和8年度 第2回吹田市政策会議概要

日 時：令和8年8月18日（火）午後1時～午後2時

場 所：吹田市役所 高層棟4階 特別会議室 及び オンライン

出席者：（特別会議室に参集）後藤市長、春藤副市長、辰谷副市長

（庁内テレビ会議システムにより出席）

大江教育長、井田総務部長、山下危機管理監、中村税務部長、岡松市民部長、萩原都市魅力部次長（代理出席）、岡田児童部次長（代理出席）、梅森福祉部長、今峰健康医療部長、松林保健所長、道澤環境部長、木村理事、梶崎土木部長、野口理事、愛甲下水道部長、伊藤会計管理者、山田消防長、渡邊消防本部理事、岡本議会事務局長、杉原選挙管理委員会事務局長、秋房監査委員事務局長公平委員会事務局長兼任、東田農業委員会事務局長固定資産評価審査委員会事務局長兼任、大山学校教育部長、植田教育監、二宮地域教育部長、原田水道事業管理者職務代理者水道部長

所 管：【行政経営部（企画財政室）】北澤部長、吉川次長、中村参事

【都市計画部（計画調整室）】清水部長、大掠次長、清水室長、渡辺総括参事、松永参事

案 件	令和9年度（2027年度）～令和13年度（2031年度）実施計画策定及び令和9年度予算編成の方針
担当及び関連部局	行政経営部（企画財政室）、都市計画部（計画調整室）
【案件概要】 令和9年度（2027年度）～令和13年度（2031年度）実施計画策定及び令和9年度予算編成の方針を定めるもの。	
【所管部の考え方】 本市では、転入超過に伴う社会増を中心とした、人口の増加を維持している。このような状況において、堅調な市税収入の下支えの下、第4次総合計画の実現に向けた「重点取組2023」を積極的に推進していくため、財政の健全性の維持と将来への必要な投資の両立を図りながら持続可能な財政運営を行い、本市の魅力や強みが増すようなまちづくりを進めてきたところである。 一方で、近年の財政状況に目を向ければ、人件費、物件費、扶助費等の経常経費の著しい増加等を受けた歳出超過の傾向があり、実質収支の黒字確保を財政調整基金の繰入れに依存する状況が続いている。 今後、高質な市民サービスを維持しながら、進行中のプロジェクトを計画通り遂行すると同時に、将来世代に過度な負担を残さない健全な財政基盤を堅持するためには、従来通りの歳出構造を前提にするのではなく、これまで以上に徹底した事業の選択と集中を図り、持続可能な行政運営を進めていく必要がある。 これらのことを全部局の共通認識としたうえで、国の動向等も踏まえながら、本市の方針に基づき住民福祉の増進に資する取組を進めることとする。	

【質疑概要】

指示：人件費の上昇が顕著な中、予算編成に係る現時点での収支状況は厳しい。DXによる業務プロセス改善を推進している一方で、会計年度任用職員を含む職員体制に変化がないことは課題である。扶助費、補助費等の額も伸びており、事業の優先度の検討が必要。行政経営部だけで考えるのではなく、各部局での検討をお願いしたい。

指示：歳入の見込額から、昨年度よりも厳しい状況であると認識している。昨年度同様に事業の見直しに取り組むこと。

指示：事業開始時点で事業の終期を想定しておらず、事業や取組が見直されないことはかねてからの課題である。事業の実施に当たっては、具体的な効果測定スケジュールや事業終了の条件等を設定するよう、各部局でも取り組むこと。また、各部局が実施計画を策定する際には、企画財政室が示す策定方針に沿ったものとなっているかを確認すること。

【結果】

本件は、承認された。会議で出た指示を踏まえて取組を進めること。